



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30  
 例会場：卯辰山・ホワイトハウス  
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所  
 TEL <0762> 63-1151  
 会長：越野 民男 幹事：浅田 豊久  
 情報委員長：清水 忠

1975・12月25日 第56号

“職人の川浅野川”

友禅作家 成竹 登茂男氏

浅野川は職人の川である。

その清冽な流れから自然の恩恵を汲み取ろうと、友禅染めが、箔打ちが、酒の仕込みが、そして和紙漉きが川のほとりに栄えた。

厳寒の天神橋あたりで、そういった職人たちが、手樋に水を汲み、友禅を流し、紙を洗う絵のような風景が、つい20年前まで浅野川にはあった。

職人たちは、この川の恵みに感謝する年一回の水供養を忘れなかった。

それは浅野川の職人だけが持つ美しい気風である。その自然を愛する美しい気風が、加賀友禅を生み、加賀金箔を生み、加賀蒔絵を生み、加賀象嵌を生み、その他数々の歴史的遺産を生み出しているといつてよいであろう。

—金沢北RC例会卓話より— (文責 清水 忠)



卯辰山碑林散歩 (27)

——綱村流水歌碑——

紅葉に色づいた枯葉が、戸室の自然石でできた見事な歌碑にふりかゝる。

紅葉台にある綱村流水の歌碑は、金沢の医師であり、歌人でもある氏の地方歌壇発展への功をたゝえて昭和41年に建立された。

碑面にはたくましい筆致で  
 “冬潮はひたぶる寄せて川口の  
 洲をつくどきに白く波あぐ、  
 と刻まれている。

## 私 の 名 刺

出 島 敬 識



去る12月4日、米沢繁男先生、中村省三氏の御紹介を頂いて入会致しました出島でございます。一介の百姓がロータリークラブに入会するのは、デカンショ節にあります様に、山家の猿が花のお江戸へまかり出た様に、何やらなじめない気持でしぶしぶ米沢先生の御要請をお引受けした次第です。

誠に勿体ない事乍ら、先に三中同期の吉田昭炳さんよりやはりおすゝめがありお断りした事がありました。只今は、長男の敬士が力一ぱい後を継いでやって呉れて居り、忙しい中にも少しづつ、心のゆとりも出て参りまして農業と云う職業を通して、少しでも社会に御奉仕出来れば何より幸せだと思ふ様になり入会に踏み切った訳でございます。

泥くさい、依怙地な者で恐縮でございますが、何分にもよろしくお願い申し上げます。

入会当日、越野会長さん始め、役員の皆様よりロータリークラブについての研修を受け膨大な書類を頂きまして、入会以前の色々の誤解も消え、職域を通じて社会に奉仕し、人間として終生厳しい勉強の出来る組織であることを認識させて頂き、身の幸せと、会員としての責任の重大さを痛感致して居ります。

名刺には肩書が附くのが普通であります。私の場合は先祖伝来の農業でありまして、真裸のままの出島でございます。無理をして肩書をつけるとすれば「出島農場主」とでもなりませうか。

終戦以来、農業に従事し、当時の食糧難時代に農業の重大さ、尊さを痛感し、生涯を食糧を生産して国民の皆様生命と健康を守る為に力の限り頑張らせて頂くのだと決意致しました。

幸い「農業こそ聖業なり」と云う同志に恵まれまして、地域の農業団体、全国的な農業団体に早くより参加させて頂き、何かと良い勉強をさせて頂いて居ります。

其の一つに「全国愛農会」と云う組織があります。幸いな事に私は、理事の末席をけがし、県愛農会の副会長をおおせつかり、学校法人愛農学園農業高校の理事の一員でもございます。愛農会とは、一口に申しあげますと農業こそ人間生活の根底をなすものでありまして、愛農、愛人の生活に徹しようとする、云わば、農業を通じて愛の実践を行おうと云う会であります。

愛とは奉仕であり愛農会の精神は農業と云う職域を通して社会に奉仕するロータリー精神に他ならぬ事を知り、此の度の入会は、非常に嬉しく存じます。只今各種公害が問題になっていますが、私共は農業公害に汚染されない良質の食糧を安価に生産し、消費者の国民の皆様生命と健康を守る為に全国各地で同志一同命がけで頑張っています。消費者の皆様も相呼応して会員となり、国民運動にまで展開して来て居ります。ロータリーの皆様、何分にもよろしくお願い申し上げます。

### ロータリーニュース

#### ◆次年度会長は宗田市太郎君に決定

12月18日例会において、年次総会が開かれ次年度の理事及び役員を選出し、会長は宗田市太郎君に決定した。詳細は次号に……

#### ◆米山国際奨学会より感謝状届く

当クラブの4回にわたる特別寄附に対し、この程、次のような感謝状がとゞいた。今般米山国際奨学会事業のため特別ご寄附を賜り厚くお礼申し上げますと共に、日本のロータリーの誇りとする本事業に対するご理解とご協力に深甚なる敬意を表します。

財団法人米山奨学会理事長 湯浅恭三

#### ◆第一回茶道部会

12月12日夜、吉山会員宅蓮寺茶室で長野夫妻はじめ8名参加して和やかに勉強した。

#### ◆会員家族合同懇親会の午後

12月21日の午後、ホワイトハウスに会員家族96名集って盛大かつ和やかに交歓、重苦しい不況ムードを一掃して新しい年に望もうと語り合っていた。

## 私のロータリー手帖から（8）

## Rotary: "The Best is Yet to be"!

柴田 三郎

タイトルに拝借した英文は、ロータリーにおける有名な警句として知られている。これは、国際ロータリー前事務総長ジョージ・R・ミーンズ氏が、永年勤め上げてその職を辞するに当たってのメッセージの一節であり、当時、日本では「ロータリー未だし」と、シンプルに迫力をもたせて訳された。即ち「ロータリーの最善は未だ為されていない」と、私は解釈している。心すべき痛烈にして貴重な至言である。

一方、ロータリーの創始者ポール、P、ハリス氏は、かつて来日したとき遺した言葉に、「すべてがうまくいっていると思うなら、神よあわれみ給え、ロータリーの終焉は近づいている」と。而して更に「有難いことに、ロータリーは、どの部分も改善せずによいという個所はない」と、明言している。ジョージもポールも、ロータリーの先覚者として、すいも甘いも判っているのである。

判らぬのは誰れか、それはロータリーに無垢なる年数浅き会員の責任ではない。それらを指導すべき役割りを課せられている人々の不勉強であり、経歴と年数を重ねている先輩会員の怠慢であろう。「ロータリーは素晴らしい！されど現況、これでいいのか？」の、声が聞かれる所以である。ロータリークラブは親睦に始まるが、単なる社交団体ではない。ロータリー精神を探求し、それを身につけ実践せんとする人々のチームであり、結合体である。

毎週会合する例会は「親和のグラウンドでもあるが、よりよき修練の道場である」と、鮮明に表現されている。そして、この道場に学ぶロータリー精神とは何か、それは1923年の第34号議案として、時の国際大会に採択され、確立された二つの原則、世に謂う「23-34」に明確である。

その一つは、「Service above Self」で、「超我の奉仕」或いは「サービス第一、自己第二」、更にせんじ詰めて「他人への思いやり」という哲学である。もう一つは、「He Profits most who Serves best」であって、「最もよく奉仕するものに最大の利得（恵み）がある」という実践を基礎にしている倫理である。この二つを更に具体的に、ロータリー精神のものさしとして表現したのが「四つのテスト」であり、私流には、社会生活の土台としての「ロータリアン信条」である。即ち、「うそ、偽り、無理はないか」、「正々堂々筋が通っているか」、「善意と友情に徹しているか」、「世のため人のためになるか」の4ヶ条である。

これらが100%実践されているとしたら問題はない。が、それは努力を要する至難事。というところにロータリーの存在意義がある。即ち「ロータリーは、自己の為に利益を得ようとする欲望と他人の為に尽くそうとする義務感にはさまれて、心の中に起る争い、葛藤を和解調整しようとするものである」と、求道の精神が明言されている。しかも、これにつながる哲理に、「なさは人の為めならず」、「積善の家に余慶あり」、「因果応報」などの訓えがある。

ロータリーは、こうしたロータリー理念を、特にそれぞれの職業を通じて実践するを眼目としているところに、重大な意義と特長があり、ロータリーのゆるぎなき根幹をなしているのである。極言するなら、ロータリーはこの一事に尽きると言っても過言ではなからう。しかるにロータリーの現情はロータリーの正道、修練への開花が忘却されんとし、邪道に花が咲き乱れている感が深い。今はなき柿下正道博士は、昭和28年私と同期の金沢RC入会であるが、「ロータリーは、人間を人間らしくするところ」と、かつて私にアドバイスされた。不朽の名言であると思う、こんな人こそ指導者ガバナーとなって欲しかったと追憶を禁じ得ない。

クラブの長大を誇るの愚かであり、入会年数の多きをもって自慢にはならない。安積得也氏は「歴年数や会員数の長大なるをもって貴しとせず、模索の努力の充実度こそ貴重なり」と、看破された。味うべき忠言である。長大クラブ、古参会員は今こそ、謙虚に反省し、衿を正さねばならない。新クラブ、新会員は、ロータリーの真実と取組む意欲をかき立てねばならないと想う。……新しい年を迎えんとして、わが反省の辞としたい。

# 第111回例会

◆12月11日(木)曇り ホワイトハウス 12:30-13:30



1. 講話  
"友禅あれこれ"  
成竹登茂男氏
2. 出欠  
出席39名、欠席5名  
出席率88.10%
3. 来訪者  
砺波RC 今井良一君  
河北RC 北岡一男君  
金沢RC 寺尾正則君  
松本静夫君

江川昇君、岡本義久君、西永掃部君  
金沢東RC 福光博君、山本勝美君  
松本由君、前村度明君、岡章君  
北村友正君、山宮外雄君  
金沢西RC 坂本宗一郎君  
小堀甚九郎君、中島鉄君  
鈴木栄直君  
金沢南RC 徳光泰治君、谷口博夫君  
石坂弥重郎君、飯田一郎君  
河崎屋三郎君、丹羽幹雄君

4. 幹事報告 ○年次総会ご案内  
12月18日(木) ホワイトハウス  
○医王園よりおむつ寄贈につきお礼状受領  
○「ロータリーの友」配布。
5. 例会変更 ○金沢RC 12月31日(木)の例会は24日(木)に変更致します。  
○金沢東RC 12月29日(月)の例会は、25日(木)ホワイトハウスで金沢北RCとの合同例会に変更致します。  
○金沢南RC 12月30日(火)の例会は、12月24日(木)午後6時より、金沢スカイホテルに変更致します。
6. 今日のニュース 43年12月10日、府中刑務所横路上で東芝府中工場のボーナス294307500円を現金輸送車から強奪したいわゆる3億円事件は、犯人不明のまま、遂に時効成立した。

# 第112回例会

◆12月18日(木)雨 ホワイトハウス 12:30-13:30



1. 講話  
"ルクセンブルグの安全保障" 藤田勇氏
2. 出欠  
出席39名、欠席5名  
出席率88.10%
3. 来訪者  
堺東南RC 鶴五郎君  
加賀RC 野口稔君  
金沢RC 坪野俊雄君  
寺尾正則君

玉田晴二君、齊藤隆三君  
山田政一君、佐山好三君  
三木甫君、中田雄次郎君  
金沢東RC 矩幸成君、浅田裕久君  
鈴木菊男君、池本晴雄君  
深井正敏君、松本由君、藤井健君  
金沢西RC 吉川正美君、角永豊治君  
金沢南RC 成瀬栄蔵君、柿木英夫君  
米谷半平君

4. 幹事報告 ○交換学生受入れに関する懇談会報告  
日時 12月9日(火) 午後7時  
場所 北国銀行寺町支店  
ホスト 金沢南RC  
出席者 越野会長、浅田幹事、高田国際奉仕委員長  
○本日例会終了後修練委員会開催  
出席義務者 役員及び修練委員  
○次回12月25日(木)の当クラブ例会は、金沢東RCとの合同例会と致します。  
○事務局移転のお知らせ  
金沢商工会議所2階から3階に変更。  
5. 今日のニュース 最近のレジャーベスト5から遂に姿を消したボーリング………  
男1位パチンコ、2位マージャン、3位ドライブ、4位旅行、5位競馬。  
女1位旅行、2位ドライブ、3位ハイキング、4位パチンコ、5位マージャン。

## 11月例会出席状況

(100%) 皆出席18ヶ月

会員名	月日	11/6	11/13	11/20	11/27	11月	会員名	月日	11/6	11/13	11/20	11/27	11月
浅田 豊久		M	○	○	M	◎	大海 徳二		M	M	○	○	◎
東元 潔		○	○	○	○	◎	大村 精二		M	○	○	○	◎
平尾 信明		○	○	○	○	◎	桜井 健太郎		○	M	○	M	◎
本江 他美夫		M	○	○	○	◎	柴田 三郎		○	○	M	○	◎
泉 武義		○	○	○	○	◎	清水 忠		○	○	○	○	◎
上 次作		M	○	M	○	◎	塩村 喜代次		○	M	○	○	◎
笠間 恒次		M	○	M	○	◎	庄田 厚郎		○	○	M	M	◎
加藤 悦大		○	M	○	○	◎	高田 全		○	○	○	○	◎
木田 忠男		M	M	○	○	◎	依外 代吉		○	○	M	○	◎
木島 光仁		○	○	○	○	◎	土原 一二		○	○	○	○	◎
小林 隆二		M	M	○	○	◎	釣見 栄一		○	○	○	○	◎
越野 民男		○	○	○	○	◎	若野 三朗		○	○	○	○	◎
小杉 守男		○	M	○	M	◎	山田 淳		M	M	M	○	◎
小杉 善二		○	○	○	○	◎	山田 安隆		○	○	M	○	◎
松本 智		○	M	M	M	◎	山上 啓介		○	○	○	○	◎
宗田 市太郎		○	○	M	○	◎	山岸 与作		M	○	○	M	◎
長野 幸雄		○	M	○	M	◎	米沢 繁男		○	○	○	○	◎
中村 省三		○	○	○	○	◎	米沢 修一		○	○	○	○	◎
大場 勝雄		○	○	○	M	◎	吉田 昭炳		M	○	M	○	◎
岡部 三郎		M	M	○	○	◎	由井 賢一		M	○	○	M	◎
岡田 林太郎		○	○	M	○	◎	吉山 宥海		○	○	○	M	◎